

輝け！シン尾花沢中

第140号

令和7年

12月8日

つたえゆかしい 校章よ おおむつましく 丘かげに

自分の身は自分で守る～クマ対応研修会～

1日（月）に、市防災危機管理課地域防災専門員の鈴木伴子さんを講師に「ツキノワグマの被害にあわないために」のテーマで、全校生を対象とした研修会が行われました。

尾花沢市でも人身被害が出ており、連日のようにクマ出没情報と注意喚起の防災放送が流れています。関係機関がさまざまな対策をとってくださってはいるものの、いつ何時クマに出くわすかもしれません。自分の命を守るために、こういった行動をとることが大切なのかについて、お話を聞きました。



■クマにあわないためには

- 1 目撃情報に注意しよう！→新聞、ラジオ等のマスコミ情報、市・警察等からの目撃情報
- 2 クマに自分の存在を知らせよう！→クマが人間の存在に気づかずばったりあうことが最も危険！
- 3 活動時間や気象状況に気をつけよう！→朝夕・黎明時は活動時間、霧や風があるときは注意力散漫
- 4 ゴミ等は放置せず、持ち帰ろう！→「人間は食べ物を持っている」と学習してしまう
- 5 クマの痕跡をみつけたら、その場を離れよう！→木に爪痕やクマ糞、地面にフンや足跡

■クマにあってしまったら

- 1 そっと立ち去ろう！→クマを驚かせない
- 2 騒がない！→いたずらに興奮させるだけ
- 3 そっと後ろに下がる→逃走すると追いかけてくる
- 4 子グマにあっても近づかない→近くに母グマ...

■クマの攻撃パターン

- 1 上腕でひっかく
- 2 かみつく
- 3 一撃を与え逃走する場合が多い
- 4 顔面・頭部を攻撃することが多い

クマに関する10問クイズの後、「もし、クマが攻撃してきたら」を想定して身を守る方法を実践しました。「しゃがみ込みパターン」と「うつ伏せパターン」で、頭部や首部を守る術を学習して研修会は終了しました。



頭部を隠しやすいしゃがみ込みが多いようです



教頭先生演じるクマが恐怖をかき立てます

「自分の身は自分で守る」

今回のような研修を通して危機管理意識を高めることで、安全で安心な中学校生活を送ることができるよう、今後も生徒と一緒に考えていきたいと思います。【文責：校長 工藤雅史】